

1. 略歴

1981年3月	東京大学文学部第1類（文化学類・倫理学専修）卒業（文学士）
1983年3月	東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻修士課程終了（文学修士）
1983年4月	東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻博士課程進学
1986年3月	東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻博士課程単位取得退学
1986年4月	跡見学園女子大学文学部非常勤講師 ～1989年3月
1987年4月	日本学術振興会特別研究員 ～1989年3月
1989年4月	専修大学文学部非常勤講師 ～1990年3月
1990年4月	北海道大学文学部哲学科倫理学講座助教授
1995年4月	北海道大学文学部人文科学科倫理学講座助教授（学部改組による）
1996年10月	東北大学文学部哲学科倫理学講座助教授
1997年4月	東北大学文学部人文社会科学科哲学講座助教授（学部改組による）
2000年4月	東北大学大学院文学研究科哲学講座助教授（大学院重点化による）
2000年10月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年10月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

倫理学原理論、近現代西欧倫理思想

b 研究課題

倫理学的諸概念の哲学的考察

c 概要と自己評価

主たる研究は、一方ではドイツ観念論から現代の現象学的・解釈学的哲学をはじめとする思想史的研究をふまえながら、倫理学的諸問題を「人のあいだ」に根ざし、「人のあいだ」にかかわる問題群として思考することである。この数年は、現在の共同的な生を枠づけている資本制の問題にあらためて関心をいだき、かつて発表した『マルクス 資本論の思考』に引きつづき、考察を継続している。

d 主要業績

(1) 著書

共著、熊野純彦、『人文知 3』、東京大学出版会、2014

(2) 論文

熊野純彦、「美と倫理とのはざままで」、『群像』、11月号、56-69頁、2015.10

熊野純彦、「美と倫理とのはざままで（2）」、『群像』、12月号、182-195頁、2015.11

熊野純彦、「美と倫理とのはざままで（3）」、『群像』、1月号、236-247頁、2015.12

熊野純彦、「美と倫理とのはざままで（4）」、『群像』、2月号、210-223頁、2016.1

熊野純彦、「美と倫理とのはざままで（5）」、『群像』、3月号、237-249頁、2016.2

熊野純彦、「美と倫理とのはざままで（6）」、『群像』、4月号、248-259頁、2016.3

(3) 解説

熊野純彦、「和辻哲郎と私」、上廣倫理財団編『わが師・先人を語る 1』、2014

熊野純彦、「哄笑するカント」、『群像』、2015年1月号、146-147頁、2015

(4) 翻訳

個人訳、I. Kant, "Kritik der Urteilskraft"、熊野純彦、『判断力批判』、作品社、2015

個人訳、H. Bergson, "Matiere et memoire"、熊野純彦、『物質と記憶』、岩波書店、2015